

を把握し、経営管理集積計画の策定に活用していきます。

水産業の振興においては、担い手不足と気候条件の変化による漁獲量への影響に対応するため、新たに漁業振興計画を策定し、振興を図っていきます。

商工業の活性化支援においては、引き続きプレミアム付き商品券を発行し、地域経済を支えています。

雇用対策においては、地域雇用創出推進事業と資格取得支援事業を継続するとともに、求人情報サイトをより町内企業の求人情報を発信していきます。また、本町の産業振興と雇用拡大を目的として誘致の取り組みを行っているCCSプラント施設については、今後も関係機関と連携し、実現に向け誘致活動を展開していきます。

誰もが健やかでいきいきと暮らせるまち

安心して子育てできる環境づくりにおいては、子育て交流施設のみつしゅを拠点に、妊娠から出産、子育てまで継続的に支援を行うとともに、相談体制や情報提供、要保護児童対応等の更なる充実・強化を図っていきます。

保育環境の整備・充実においては、令和7年度からスタートする「三種町こども計画」に基づき、保育園における通常保育や延長保育、一時預かり保育等の充実を図

るとともに、放課後児童クラブの運営と一体的に子育てと仕事の両立支援を実施していきます。また、保育料においては、所得制限を設けず全ての児童を対象に保育料完全無償化を実施し、子育て世帯の経済的負担の軽減を図っていきます。

男女共同参画社会の実現においては、地域で男女ともに活躍できる環境づくりや子育てと仕事の両立支援を促進するための取組みを、住民や事業者と連携しながら推進していきます。

障がい者福祉においては、「第4期三種町障がい者計画」に基づき、障がいを持った方がたが能力や適性に応じて自立した日常生活や社会生活を営むことができるよう、自立支援給付や地域生活支援などを実施し、福祉サービスの充実を図っていきます。

地域福祉の推進においては、「第4期三種町地域福祉計画」に基づき、住民による福祉活動と行政による公的サービスを結び付け、様々な生活課題の解決を図っていきます。

高齢者福祉の推進においては、「三種町高齢者福祉計画・第9期介護保険事業計画」に基づき、医療、介護、予防、生活支援が一体的に供給される地域包括ケアシステムの構築に努めるとともに、今後増加が見込まれる認知症の予防と本人・家族への支援を強化するため、認知症講演会による知識の普及啓発や地域住民が主体となっ

て介護予防に取り組む「サロン」の立ち上げ支援、地域包括支援センターを核とする相談支援の取り組みを一層推進していきます。また、次期介護保険事業計画の基礎資料として高齢者の心身の状況、生活環境等を把握するため、日常生活圏域ニーズ調査や在宅介護実態調査を実施し、実態把握に取り組んでいきます。

災害時の高齢者や障がい者等の避難においては、集中豪雨による風水害や地震など、地域での見守りや避難支援の体制づくりが急務となっています。このため、現在進めている避難行動要支援者名簿と個別避難計画の整備、これを活用した避難支援体制の構築の取り組みを、社会福祉協議会、民生児童委員、自治会等の関係機関と連携しながら推進していきます。

誰もが生涯にわたり学び心豊かに暮らせるまち

教育環境等の充実においては、児童生徒数が減少する中、町の将来を担う子どもたちが、個性と創造力を伸ばし、健やかに成長できる環境を整えるため、小学校と中学校の再編事業を進めてきました。令和8年度の開校を予定している統合中学校については、計画の推進を図り、開校に向けた準備を進めていきます。

統合小学校については、山本・八竜地域で令和9年度の開校に向

け、検討委員会等による協議を行いながら準備を進めていきます。教育環境の整備においては、児童生徒用タブレット端末の更新や電子黒板の計画的な整備をはじめ、電子教科書の拡充、校務用パソコン等の更新などにより国のGIGAスクール構想に対応したICT環境の向上を図り、児童生徒の学ぶ環境づくりや教職員の職場環境改善を図っていきます。

生涯学習の推進においては、またね大学の開講や町民の学習ニーズに合った講座の開催、自主学習支援、ボランティア活動の推進を図っていきます。

スポーツの推進においては、スポーツに対するニーズを把握し、健康増進のみならずスポーツを通じた仲間づくりや生きがいづくりにつながるような事業を推進していきます。また、スポーツ協会、総合型地域スポーツクラブ、スポーツ少年団等への支援や交流事業を継続するとともに、部活動の地域移行を進め、スポーツをリードし支える人材の育成・確保を図っていきます。

芸術・文化活動の振興と郷土芸能等の継承においては、団体の活動や関連イベントへの積極的な支援に加え、郷土芸能や文化財を次代につなげるため、後継者育成への支援と文化財の保護により、元気で魅力的なまちづくりを推進していきます。